



代表取締役兼CEO
廣瀬 素久氏

取締役兼COO
河崎 智子氏

活用した支援

- ・創業相談
- ・コーディネーター相談
- ・産学共同研究促進支援事業
- ・トライアル発注認定事業(千葉市)等

課題

- ・創業・資金調達
- ・補助金・助成金・支援制度等の申請
- ・経営に関する全体的な支援

解決策

- ・CHIBA-LABO創業個別相談
- ・各種申請サポート
- ・専門家の紹介
- ・産学連携支援等

得られた効果

- ・各種補助金・助成金・支援制度等を活用しての事業拡大
- ・『ベンチャー・カップCHIBA』グランプリ受賞
- ・自走できる経営体制の構築

大学発ベンチャー！認知行動療法を広め、こころのセルフケアができる社会へ！

株式会社メンサポは、千葉大学大学院医学研究院等にて心理療法の一つである認知行動療法（CBT）を研究する3人の研究者により設立された大学発ベンチャーです。

認知行動療法を広めるため、医療・福祉、教育、行政などの対人援助職向けeラーニングコンテンツの作成・提供や研修会、コンサルティング等を行っています。

支援のきっかけと決め手は？

弊社は、認知行動生理学のeラーニングコンテンツの作成や配信を行う大学内教育事業からスタートしました。2022年度末に事業自体は終了したのですが、受講生から継続を望む声が多く挙がり、大学内外からメンタルヘルス不調を改善する社会的意義を高く評価されていました。私たちも「認知行動療法を世の中に広めたい」とい

う思いがあったので、議論の末ネットワークが軽く色々なことに挑戦できる大学発ベンチャー企業として、起業をすることに決めました。その際、千葉市産業振興財団（以下、財団という）が創業支援事業を行っていると教えてもらい、まずは財団が運営する起業家支援施設CHIBA-LABOに入居し、会員登録を行いました。

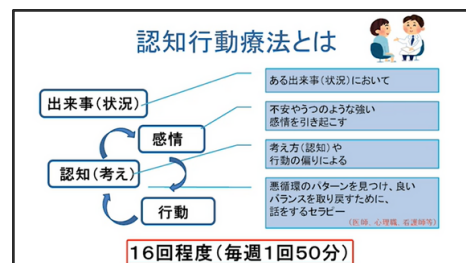
どのような取り組みを行いましたか？また、取り組みの進め方を教えてください。

まずは法人設立に向けて、全4回の創業個別相談で事業計画・経営計画の書き方から登記の流れまでイチから教えてもらいました。創業をする際、千葉県「ちば創業応援助成金」を活用したのですが、申請書類のチェックもコーディネーターにいただきました。審査に通るためのビジネス目線でチェックし

てくれるので、大変ありがたかったです。私たちはつい研究者目線で文章を書いてしまうので、「この箇所は意味がわからないです。」なんて添削されて。(笑)

「あ、この言葉じゃ伝わらないんだ！」と、徐々にビジネス感覚を養っていきました。創業から1年半が経ちましたが、現在も申請書は基本的に必ずチェックしていた

だくようにしています。コーディネーターは何かあればすぐに連絡ができる、私たちの心の支えです。



取り組みの成果を教えてください。

補助金や助成金、支援制度を最大限活用！順調に事業を拡大中！

ー今まで活用された補助金や助成金、支援制度を教えてください。活用できそうなものはできるだけたくさん申請するようにしています。千葉県、千葉市など交付元は異なりますが、「千葉市アクセラレーションプログラム(C-CAP)」、「ひまわりベンチャー育

成基金助成金」、「産学共同研究促進支援事業」、「トライアル発注認定事業」等を申請しています。すべて採択され、獲得した補助金や助成金を活用しつつ、専門家の支援を受けながら、事業拡大に向けて進んでいます。「産学共同研究促進支援事業」では、千葉大学と

の共同研究で、精神科訪問看護師向けのコンテンツ開発を行っています。現在、8割ほど完成しております。完成後に大学内で実証実験を行います。実証実験で製品化できるレベルにできれば、来年中には新コンテンツとしてリリースできる予定です。

今後の事業展開や財団に期待すること

ー今後の事業展開について
新たなチャレンジとして、対人援助職の先にあるエンドユーザー、具体的にはこころの発達に特性のあるお子さんをお持ちの保護者向けのWebアプリを作っています。これからも、対人援助職向けのコンテンツという主軸は維持しつつ、よりたくさんの方に認知行動療法を広めていけるよう、積極的な事業展開を行ってまいります。

ー財団に期待すること
創業が決まった頃から財団の支援を受け、何かあったらまずはコーディネーターに相談するほど私たちは頼りにしています。あとは、販路開拓でしょうか。例えば、ベンチャー・カップCHIBAでグランプリを取ると、顧客になる可能性がある企業などを紹介していただける、などが実現できれば、大変嬉しいと感じます。



ーありがとうございました。